

印西自転車散歩マップ

西・北印旛沼と富士山の展望ルート (瀬戸、山田、平賀、吉高)

- 例
- 基本ルート
- ショートカットルート
- 坂道
- 走行注意箇所
- 主要道路
- 自転車専用道路
- 北総鉄道
- 成田スカイアクセス
- 河川、池、沼など
- チェックポイント
- 印西大師札所番号
- トイレ
- コンビニエンスストア
- 公園
- 水田
- 印旛沼
- 信号



春 松虫寺



夏 平賀千拓田



秋 富士山夕景



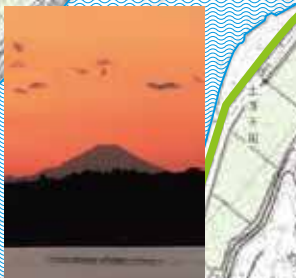
冬 雪の富士山



しらさぎ



夕陽ヶ丘のススキ



印旛沼と夕焼けの富士山



双子公園のサイクリスト



ユウカリが丘の夕景



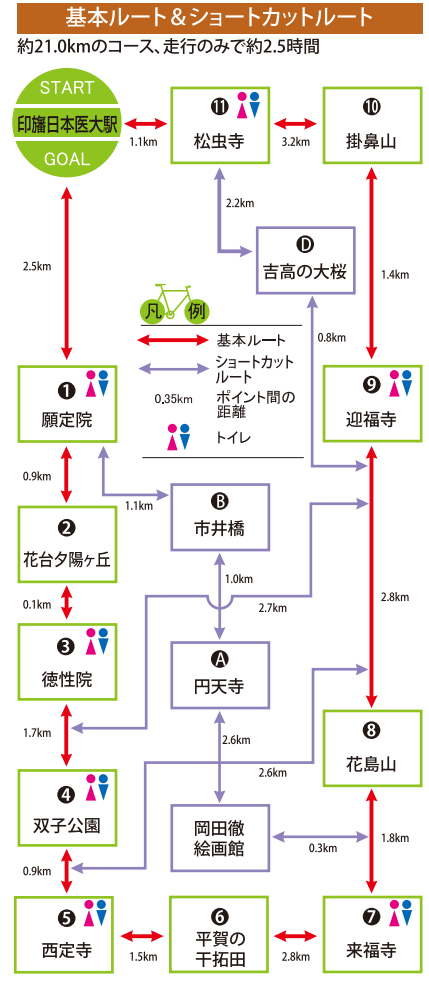
平賀千拓田



フォトギャラリーいにはの里



平賀排水機場



本ルートの総距離は約21km、純走行時間は約2.5時間ですが、神社仏閣などをゆっくり観て回ると5、6時間かかります。
留意点としては、チェックポイントの神社仏閣の標識がほとんどありません。あらかじめマップでルートを確認してお進みください。またこのルート上には、コンビニ、食堂などがほとんどありません。トイレが少ない区間もありますので、ご注意ください。

- ### 自転車走行上の留意事項
- 散策などをされる際には、以下のことに特に留意して、マナーを守ってお楽しみください。
- 住居などの生活空間に立ち入らないこと
 - 動植物を勝手に採取しないこと
 - 境内などをスパイクなどの金具の付いたシューズで歩かないこと
 - 交通のさまたげとならないよう気をつけること

- ### 自転車安全利用五則
- 自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - 車道は左側を通行
 - 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - 安全ルールを守る
 - ① 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ② 夜間はライトを点灯
 - ③ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
 - 子どもはヘルメットを着用

印西市 マスコットキャラクター いんざい君

0 250m 500m 750m 1000m

※このマップは印西市の許可を得て印西市都市計画図を基に制作されています。
※地図上の情報は平成29年9月末時点を基準にしております。

基本ルート&見所

印西自転車散歩マップ



西・北印旛沼と富士山の展望ルート (瀬戸、山田、平賀、吉高)



印西いーまち会
平成27年3月

ルートの特徴

本ルートは印旛日本医大駅を起点として、昔印旛浦と呼ばれていた入り江に岬のように突き出た台地の東南端エリアを一周するルートです。

台地部からは雄大な西・北印旛沼や富士山の眺望を、低地部では広々とした干拓田の景観を楽しみ、丘陵を開削した捷水路では渓谷のような風景にもお目にかかれます。

またルート沿いには地域の人々によって守られてきた多くの神社仏閣、史跡、資料館や絵画館もあり変化に富んでいます。印旛沼周辺はサイクリング道路が整備され、釣り人やジョギング、サイクリングを楽しむ人が多くみられます。

台地部の外周をめぐる本ルートはおよそ20kmですが、数種類の代替ルートを用意しましたので、組み合わせ次第でいろいろな距離やルートを選べます。そのときの気分や季節、天候などによりお楽しみください。



スタート&ゴール地点

いんばにほんいだいえき

印旛日本医大駅

千葉ニュータウンの最東部に位置し、北総線と成田スカイアクセス線が乗り入れています。北総線としては、当駅が終点です。駅舎には展望台があり、その独特の外観から「関東の駅百選」(平成12年(2000)選定)に選ばれています。



① 願定院

かんじょういん

24

境内は道路から少し奥まり赤い山門が見えます。山門右手のイチョウの大木ともみじが紅葉する時期は黄色と赤のコントラストが映えます。

そばに昔、村人が白馬の霊を鎮めるため建立したという馬頭観音堂があります。境内に印西大師24番札所があり、**[24]**は札所番号を示します。(以下同様)



② 花台夕陽ヶ丘

はなだいゆうひがおか

この辺りは西側ががけ地で、印旛沼の雄大な眺望、佐倉方面の景色が楽しめます。印西市内随一の夕陽スポットの名所で、冬の晴れた日には富士山もよく見えます。運がよければ、富士山頂に夕日が落ちるダイヤモンド富士に出会えるかもしれません。そうした時期には、写真愛好家達のカメラの放列が並びます。新・印西八景の一つです。



③ 徳性院

とくしょういん

76

花台大川岸の丘の中心部にあり、印旛沼の航路安全祈願のために建立されたと伝えられています。

寺院前の高台から望む西印旛沼越しの景観は絶景で、特に境内にあるソメイヨシノの満開時の花越しに見える景観はここでしか味わえません。

この他、境内には「みがきほとけ七福神」があり、一度に七福神のお参りができます。



④ 双子公園

ふたごこうえん

西印旛沼のほとりの通称印旛沼自転車道の間地点の休憩場所になっており、休日には色とりどりのウェアを着たサイクリストでにぎわいます。人工の小山からは、西印旛沼や平賀の干拓田の景観が望めます。



⑤ 西定寺

さいじょうじ

62

双子公園から県道佐倉印西線を渡った集落の中にあります。境内には観音菩薩の石像が立ち並び他、山門脇には印旛七福神の恵比寿様があります。



⑥ 平賀干拓田の景観

ひらがかんとくでん

印旛沼を半分理め立てた干拓田事業の結果1000haの水田が造成されました。その後土地改良組合により圃場整備や揚水、排水機場整備が行われ、今日の広々とした水田景観が出来上がっています。



⑦ 来福寺

らいふくじ

66

赤い屋根の本堂と山門は遠くからでもよく見えます。本堂は低いところにありますが、山門右手の階段を上ったところに薬師堂があり、県指定の有形文化財木造薬師如来坐像が祀られています。薬師堂は印旛航路に突き出た台地の突端に位置し、風光明媚、古くから夜航の目標となって常夜灯であったといわれています。印西大師の結願寺の一つで、境内には立派な大師堂があり、またたくさん石仏があります。



⑧ 花島山

はなしまやま

この山は台地から切り離されて独立した山のようにっており、昔は離れ島と呼ばれていたようです。印旛沼を航行する船からはこの独特の山容が目印となり灯標となっていたといわれています。花島山を越えると、鉄道高架越しに筑波山が遠望できます。



⑨ 迎福寺

こうふくじ

53

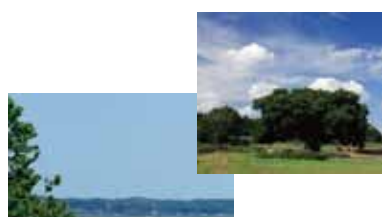
印旛沼捷水路の北側の山裾に位置する曹洞宗の寺院です。境内には、印旛七福神のうち弁財天があり、駐車場、トイレも完備しています。南側には成田空港に行く成田スカイアクセス線が見られます。



⑩ 掛鼻山

かけはなやま

北印旛沼を俯瞰でき、眺望のよいところです。周囲はのどかな畑地が広がり、シンボルツリーである榎の古木が出迎えてくれます。かつて千葉氏の支城であった吉高城の址といわれています。



⑪ 松虫寺

まつむでら

75

天平17年(745)に行基によって開基されたという由緒あるお寺です。本尊は、国の重要文化財に指定された七仏薬師如来で、33年に一度開扉されます(最近では平成24年(2012)に開扉)。松虫姫伝説で知られ、木々に囲まれた落ち着いた境内には松虫姫神社、六所神社があります。

また6月にはあじさいの花が美しく境内を彩り、訪れる方からあじさい寺とも呼ばれています。房総の魅力500選に選定されています。



<印旛沼の歴史>

江戸を水害から守るため、承応3年(1654)利根川の流れを江戸湾(現在の東京湾)から銚子沖の太平洋に変えた、いわゆる、「利根川東遷」が行われました。

この転流により、印旛沼は、以後過酷な水害の歴史を繰り返すようになります。

そこで、享保9年(1724)下総国平戸村の農民染谷源右衛門などが、次いで天明6年(1786)幕府老中田沼意次が、さらに天保11年(1840)幕府老中水野忠邦が、治水・干拓工事などを行いました、いずれも資金難や政変などにより完成をみず、昭和の初期まで水害に悩まされ続けました。

そのことから、昭和21年(1946)以降、洪水排水と干拓事業、さらに土地改良事業を併せた「印旛沼総合開発事業」が実施され、昭和44年(1969)に終了しました。

ショートカットルート&見所

A 円天寺

えんてんじ

49

浄土宗の寺院で、元龜3年(1572)に開基されました。阿弥陀如来を本尊とします。境内は緑が多く落ち着いた静かな寺院です。山門左手のソメイヨシノは老木ですが見事な花を咲かせ、秋には美しい紅葉が見られます。



B 市井橋・印旛捷水路

いちいばし いんばしょうすいろ

印旛捷水路に架かる7本の橋の一つで赤く錆びた橋です。橋の上から渓谷のような展望が楽しめます。また、北印旛沼、成田スカイアクセス線、山田橋等が見渡せます。

印旛捷水路は、干拓により分断された印旛沼の流れを疎通させるため丘陵を開削し、水面幅60m、延長4kmで、ほぼ直線になっています。

水路沿いには、自転車道路が整備され快適な走行が楽しめます。開削時に発見されたナウマン象の化石は、復元され風土記の丘博物館に保管されています。



ルート周辺施設等

いんばいかきかいれきしりょうかん

印旛医科器械歴史資料館

歴史的な医療機器・文献を収集管理しており、主として大正から昭和初期のものが約6千点も常設展示され、この種の資料館としては世界最大のものといわれています。国産1号の脳波計、閉鎖循環式麻酔器、珍しいものでは華岡雫洲の手術道具のレプリカなどが展示されています。

◆開館：月、水、金(祝祭日、年末年始除く)
◆開館時間：10:00~16:00

岡田徹絵画館

おかだてつかいがかん

大正生まれの「前衛を駆け抜けた画家」といわれる故岡田徹の作品を展示しています。一階には和室・お茶室が広々と庭を臨み、洋館のような作りの二階が絵画館となっています。仁王尊のそばにあるが、たどり着くのに苦勞する「隠れ屋」の私設美術館(御子息の岡田邸)です。その他御子息の陶芸作品、その奥様のコレクションの茶道具等も見ものです。

喫茶、食事も可能ですが、訪問に当たっては事前確認が必要です。(TEL0476-98-1877)

フォトギャラリー『いにはの里』

さと

フォトギャラリーを併設したラーメン店の中に入ると、ウッディな山小屋風の造りで大きな吹き抜けがあります。店内には、地元印旛の風景を中心に写真コンテストで入賞歴もある店主と、その仲間の写真が展示されています。



営業時間:11:00~19:00 定休日:木曜日

C 印旛沼サイクリングロード(自転車専用道路)

いんばぬま

当マップの基本ルートの中央部を斜めに横断する印旛捷水路沿いには、自転車専用道路が整備されています。



この下総台地の底を進む道は、渓谷を思わせる趣で、捷水路を横切る山田橋、市井橋の2つの橋は、頭上はるかに架けられています。

この印旛沼サイクリングロードは、(正式名称:千葉県道406号八千代印旛栄自転車道線)北印旛沼と西印旛沼を結ぶ全長24kmのコースで、新川遊歩道や花見川サイクリングロードを合わせると、東京湾の検見川浜から花見川、新川、印旛沼、長門川、旧長門川までを結ぶ約50kmの長距離サイクリングコースにもなります。

D 吉高の大桜

よしたか おおざくら

樹齢が300年を超える孤高の山桜で、昔から「吉高の大桜」と呼ばれ印西市の天然記念物に指定されています。樹高は11.7m、枝張り24.5mで、花の時期は多くの花見客で賑わいます。また、秋の紅葉も風情があります。

